


I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立むつ養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input checked="" type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	個別課題をしよう		
	単元(題材)の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の順番や内容を理解し、最後まで取り組む。 ・日常生活場面で必要となる概念を形成する。 		
学習集団と実態	学部・学年・人数	小学	部	4 年 4 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	4名の内、2名は平仮名を読むことができ、その内1名は書くこともできる。平仮名を読むことができない2名のうち内1名は平仮名を聞いて判断できる。		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	iPad		
	使用したアプリケーションの名称	もじあそび		
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
	I C T 活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚、聴覚を通して文字を学ぶことができる。 ・ルールや順番を理解して作業に取り組む。 		
活用の状況と支援	<ul style="list-style-type: none"> ○活用場面 <ul style="list-style-type: none"> ・文字の学習として iPad で文字のゲームを行うことを設定した。 ○行った支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの内容を理解するために、次に押す箇所を指差して示し、一緒に取り組んだ。 ○児童の様子・変容 <ul style="list-style-type: none"> ・アプリを活用することで、意欲的に取り組むことができた。しかし、文字やゲームの内容を理解していないため、ボタンを押して動く絵を眺めるだけの様子が見られた。 			